

◆回答者のみなさまへ◆

ご回答いただくアンケートの内容は下記の通りです。

こちらは見本用のアンケートであり、実際にはスマートフォンやタブレット、パソコンから web 上の回答フォーム (Google Forms) にアクセスし、ご回答いただきます。設問内容は変わりませんが、実際の画面上のデザインは異なります。

「ヤングケアラーに関するアンケート調査」

【アンケートのご回答について】

- ① この調査に同意し、ご協力してくださる場合のみ、アンケートにご回答ください。アンケートへのご回答をもって、この調査に同意していただいたものと判断させていただきます。
- ② ご回答は、選択肢を選ぶ場合と、数字や具体的な内容をご入力いただく場合があります。設問文の注意書きに従ってご回答ください。
- ③ ご回答されたくない質問にはご回答なさらずに、次の質問に進んでください。
- ④ ご回答内容はすべて統計的に処理をしますので、あなたのご回答が特定されたり、外部に知られたりすることはありません。ご回答いただいた内容は、厳重に保管し、本調査研究や関連する調査研究事業、学術研究の目的以外には使用いたしませんので、安心してご回答ください。
- ⑤ このインターネット調査では、一時保存が出来ません。ご回答を途中で中断される場合は、保存されませんので、最後までご回答いただくか、改めて初めからご回答をお願いいたします。なお、ご回答は1人1回限りをお願いいたします。

※Googleアカウントにログイン状態でご回答された際は、一時保存が可能です。なお、その際にもお名前やメールアドレスなど、個人が特定されないようになっていますので、安心してご回答ください。

①基本情報についてお伺いします。

1.あなたの性別についてお知らせください。(あてはまるもの1つにチェックしてください)

- 男性
- 女性
- その他

2.あなたの年齢層についてお知らせください。(あてはまるもの1つにチェックしてください)

- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代以上

3-1.現在あなたが勤務している学校についてお知らせください。(あてはまるもの1つにチェックしてください)

- 小学校
- 中学校

3-2. 現在あなたが担当している学級・教室の種別についてお知らせください。(あてはまるもの1つにチェックしてください)

- 通常学級
- 特別支援学級
- 特別支援教室

4.今年度、あなたは担任を務めていますか。

- 担任をしている⇒4-1へ
- 担任をしていない⇒5へ

4-1.今年度、担任をしている方はクラスの数をご入力ください。(あてはまるもの1つにチェックしてください)

- 20人以下
- 21人から25人
- 26人から30人
- 31人から35人
- 36人から40人
- 41人以上

② 貴校におけるヤングケアラーへの認識と対応についてお伺いします。

5. 貴校ではヤングケアラーという言葉とその概念を認識していますか。(あてはまるもの1つにチェックしてください)

言葉やその概念を知らない⇒8-1へ

言葉は聞いたことがあるが、概念を具体的には知らない⇒8-1へ

言葉とその概念を認識しているが、学校としては特別な対応をしていない⇒8-1へ

言葉とその概念を認識しており、学校として意識して対応している⇒6へ

6. 5で「言葉とその概念を認識しており、学校として意識して対応している」と回答された方に伺います。ヤングケアラーと思われる子どもの実態を把握していますか。(あてはまるもの1つにチェックしてください)

把握している⇒7へ

ヤングケアラーと思われる子どもはいるが、その実態は把握していない⇒8-1へ

該当する子どもはいない(これまでもいなかった)⇒8-1へ

7.6で「把握している」と回答された方に伺います。「ヤングケアラー」と思われる子どもをどのように把握していますか。(あてはまるもの全てにチェックしてください)

アセスメントシートやチェックリストなどのツールを用いている

特定のツールはないが、できるだけヤングケアラーの視点を持って検討・対応している

その他(自由記述)

④ ヤングケアラーについてお伺いします。

ヤングケアラーとは、一般的に「本来大人がすると想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている18歳未満の子ども」のことをいいます。このイラストは、子どもたちがしているケアのタイプを示しています。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration : Izumi Shiga

8.府中市内の学校で、これまでにあなたが関わっている、またはかかわってきた児童・生徒の中にヤングケアラーとみられる子どもはいますか(いましたか)。(あてはまるもの1つにチェックしてください)

いる(いた)⇒8-1-①へ

いない(いなかった)⇒10へ

わからない⇒10へ

8-1-①.8で「いる」と回答された方に伺います。府中市内の学校で、今年度あなたが関わっている児童・生徒の中にヤングケアラーとみられる子どもはいますか。(あてはまるもの1つにチェックしてください)

いる⇒8-1-②へ

いない⇒8-2-①へ

わからない⇒8-2-①へ

8-1-②.8-1-①で「いる」と回答された方に伺います。今年度あなたが関わっている児童・生徒の中でヤングケアラーとみられる子どもは何人いますか。(あてはまるもの1つにチェックしてください)

◆入力例

☆1人の場合→1を選択

☆11人以上の場合→11を選択

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

8-2-①.府中市内の学校で、昨年度までにかかわった児童・生徒の中にヤングケアラーとみられる子どもはいましたか。(あてはまるもの1つにチェックしてください)

いた⇒8-2-②へ

いなかった⇒9-1へ

わからない⇒9-1へ

8-2-②.8-2-①で「いた」と回答された方に伺います。府中市内の学校で、昨年度までにかかわった児童・生徒の中にヤングケアラーとみられる子どもは何人いましたか。(あてはまるもの1つにチェックしてください)

◆入力例

☆1人の場合→1を選択

☆11人以上の場合→11を選択

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

9. 8で「いる(いた)」とお答えいただいた中で、最も印象に残る児童・生徒1人についてお伺いします。

9-1.その児童・生徒は今年度あなたが担任をしているクラスの児童・生徒ですか。

はい いいえ

9-2.その児童・生徒にかかわられている(いた)のはいつの時期ですか。(あてはまるもの1つにチェックしてください)

今年度から 昨年度から 一昨年度以前

9-3.その児童・生徒にかかわりはじめた当時、その児童・生徒は何年生でしたか。(今年度からの場合は、今、何年生ですか)。(あてはまるもの1つにチェックしてください)

小学1年生 小学2年生 小学3年生 小学4年生 小学5年生 小学6年生

中学1年生 中学2年生 中学3年生

9-4. その児童・生徒がケアをしていることに、どのようにして気づきましたか。(あてはまるもの全てにチェックしてください)

- その児童・生徒本人の話から
- その児童・生徒の保護者の話から
- その児童・生徒の友人、クラスメイトの話から
- 家庭訪問で
- 他の教職員の話から⇒9-4-①へ
- 学校外の機関から⇒9-4-②へ
- その他(自由記述)

9-4-①. 「他の教職員の話から」と回答された方に伺います。その時の状況について、差し支えない範囲で結構ですので具体的にお書きください。(自由記述)

9-4-②. 「学校外の機関から」と回答された方に伺います。その時の状況について、差し支えない範囲で結構ですので具体的にお書きください。(自由記述)

9-5. その児童・生徒の性別についてお答えください。(あてはまるもの1つにチェックしてください)

- 男性
- 女性
- その他

9-6. その児童・生徒の家族構成についてお答えください。(あてはまるもの1つにチェックしてください)

- ひとり親家庭(祖父母同居なし)
- ひとり親家庭(祖父母同居)
- ふたり親家庭(祖父母同居なし)
- ふたり親家庭(祖父母同居)
- 祖父母と子どものみ(場合によっては他の親戚が同居するものも含む)
- わからない
- その他(自由記述)

9-7. その児童・生徒は誰をケアしていますか(いましたか)。(あてはまるもの全てにチェックしてください)

- 母親
- 父親
- きょうだい
- 祖母
- 祖父
- わからない
- その他(自由記述)

9-8. その児童・生徒のほかに、家族の中でケアをしている人がいますか(いましたか)。(あてはまるもの1つにチェックしてください)

- いる⇒9-8-①へ
- いない⇒9-9へ
- わからない⇒9-9へ

9-8-①. 9-8で「いる」と回答した方にお聞きます。その児童・生徒のほかに、家族の中でケアをしている人は誰ですか。(あてはまるもの全てにチェックしてください)

母親 父親 きょうだい 祖母 祖父 わからない その他(自由記述)

9-9. その児童・生徒がケアをしている相手は、どのような状態にありますか(ありましたか)。(あてはまるもの全てにチェックしてください)

高齢※65歳以上

若い

要介護※介護が必要な状態

認知症

身体障がい

知的障がい

精神疾患※疑い含む

依存症※アルコール依存症、ギャンブル依存症など※疑い含む

精神疾患・依存症以外の慢性的な病気

日本語が苦手

わからない

その他(自由記述)

9-10.その児童・生徒はどのようなケアをしていますか(していましたか)。(あてはまるもの全てにチェックしてください)

障がいや病気のある家族に代わり、家事(買い物、料理、洗濯、掃除など)をしている

家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている

目を離せない家族の見守りや声かけをしている

家族の感情面のサポートをしている(愚痴を聞く、話し相手になる)

家族の通訳をしている(日本語や手話など)

アルコール・薬物・ギャンブル問題をかかえる家族に対応している

病気の家族の看病をしている

障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている

障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

その児童・生徒がしていたケアの内容はわからない

その他(自由記述)

9-10.その児童・生徒はどれぐらいの期間、家族のケアをしているか(していたか)知っていますか。

知っている⇒9-11-①へ

知らない⇒9-12へ

9-11-①. 「知っている」と回答された方に伺います。その児童・生徒が家族のケアをしている(していた)期間の長さについて、ご存じの範囲でお答えください。

- 半年未満
- 半年以上1年未満
- 1年以上3年未満
- 3年以上5年未満
- 5年以上

9-12. その児童・生徒が家族のケアをすることになった理由を知っていますか。

- 知っている⇒9-12-①へ
- 知らない⇒9-13へ

9-12-①. その児童・生徒がケアをすることになった理由はなんですか。(あてはまるもの全てにチェックしてください)

- 親の病気・障がい・精神疾患や入院のため
- ひとり親家庭であるため
- 親が仕事で家族のケアに十分に携われない
- 祖父母の病気や加齢、入院
- 年下のきょうだいがいる
- 親が家事をしない
- 福祉などのサービスにつながない
- 自発的に
- 他にする人がいない
- その他(自由記述)

9-13. 差し支えなければ、その児童・生徒が家族のケアをすることになった具体的な状況についてお書きください。(自由記述)

9-14. その児童・生徒を含めて、その家庭を支援している(していた)人はいますか(いましたか)。(例 親戚、福祉サービスの人)。(あてはまるもの1つにチェックしてください)

- いる⇒9-14-①へ
- いない⇒9-15へ
- わからない⇒9-15へ

9-14-①.その児童・生徒を含めて、その家庭を支援している(していた)人を、ご存じの範囲でお答えください(あてはまるもの全てにチェックをしてください)

- 親戚
- 近隣・ボランティア
- ホームヘルプサービス
- 訪問診療・訪問看護など
- デイサービス・ショートステイなど
- 具体的にはわからない
- その他(自由記述)

9-15.その児童・生徒の学業や生活への影響はありますか(ありましたか)。(あてはまるもの全てにチェックしてください)

- 学校や行事、イベントを休みがちである
- 学校や行事、待ち合わせ、イベントに遅刻や早退が多い
- 保健室で過ごしていることが多い
- 精神的な不安定さがある
- 身だしなみが整っていない
- 家が片付いていない
- 学力が低下している
- 宿題や持ち物の忘れ物が多い
- 必要な書類などの提出遅れや提出忘れが多い
- 学校や生活に必要なものを用意できないことが多い
- クラブ活動に参加できていない、もしくは部活を途中でやめてしまった
- 友達やクラスメイトとの関係を十分に築けない／関係がよくない
- お金の支払いが遅れる、未払い
- 影響はなし
- その他(自由記述)

9-16.差し支えなければ、その児童・生徒の状況についてお気づきになったことを具体的にお書きください。(自由記述)

9-16-①.その状況にどう対応しましたか。「対応する方法がわからなかった」ということでもかまいませんので、お書きください(自由記述)

9-17.その児童・生徒とかかわる上で困ったことについて、お書きください。(自由記述)

9-18.その時にあなたが相談できる相手や場所がありましたか。

- あった(いた)⇒9-18-①へ
- なかった(いなかった)⇒9-19へ

9-18-①.「あった(いた)」と回答された方に伺います。その時にあなたが相談した相手や場所について、差し支えない範囲で結構ですでお書きください。(自由記述)

9-19.その時に他の機関との連携はありましたか。

あった⇒9-19-①へ

なかった⇒10へ

9-19-①.「あった」と回答された方に伺います。その時にどんな機関とどんな連携があったか、具体的にお書きください。
(自由記述)

③ ヤングケアラー支援に関するご意見をお伺いします。

10. ヤングケアラーを支援するために必要だと思うことはどのようなことですか。(あてはまるもの全てにチェックしてください)

- 子ども自身がヤングケアラーについて知ること
- 大人がヤングケアラーについて知ること
- 学校にヤングケアラーが何人いるか把握すること
- SSW(スクールソーシャルワーカー)やSC(スクールカウンセラー)などの専門職の配置が充実すること
- 子どもが大人に相談しやすい関係をつくること
- ヤングケアラーについて検討する組織を校内につくること
- 学校や施設にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口があること
- 学校や施設がヤングケアラーの支援について相談できる機関があること
- ヤングケアラーを支援する民間団体が増えること
- 福祉と教育の連携を進めること⇒10-1へ
- 特になし
- その他(自由記述)

10-1. 「福祉と教育の連携を進めること」と回答された方に伺います。差し支えない範囲で結構ですので、具体的なお意見をお聞かせください。(自由記述)

11. 府中市でヤングケアラーへの支援を広げていくために必要だと思うことや、このアンケートに関する感想等をお書きください。(自由記述)

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

府中市・府中市教育委員会・一般社団法人ケアラーワークス